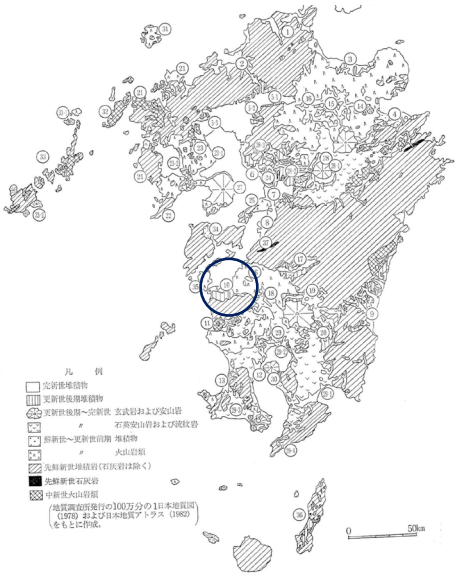
10.出水平野

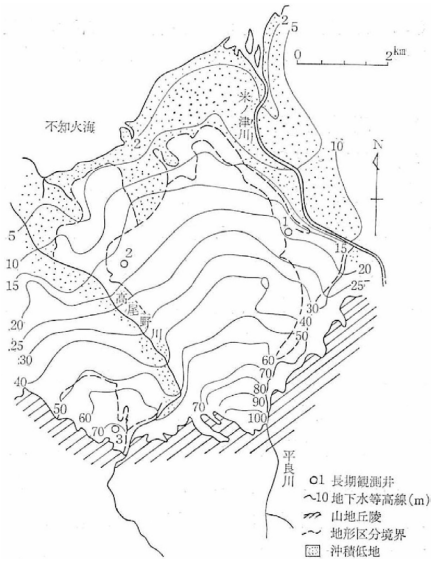


地形・地質

不知火海の最南端に面したこの出水平野は，南九州一帯に広く分布する姶良火砕流（しらす）の北限に位置します。この平野は四万十帯を基盤とし，その陥没谷に第四紀の厚い堆積物が分布します。扇状地と沖積平野からなります。

地下水

地下水は，四万十累層群を不透水性基盤とし，出水層から火砕流Ｄまでの地層に一般に被圧地下水が賦存し，段丘堆積物およびしらすに不圧地下水が賦存します。



出水平野地下水等高線図

出水平野の第四紀地質層序

時代		柱状図	岩相	地層名	地形	鹿児島県下	不知火海周辺
完新世			表土, 黒色火山灰		沖積平野	沖積面	沖積面
			砂礫	沖積層			
			砂礫層 3～5 m	武本砂礫層	河岸段丘面		
更新世	後期		赤褐色ローム 40cm	上部ローム層			
			砂礫 粘土 砂 10～20 m	出水砂礫層	低位段丘面	笠野原砂礫層 （低位段丘面）	不知火砂礫層 松橋粘土層
			オレンジ色軽石層 60cm 褐色粘土質ローム 50cm	下部ローム層			
			オレンジ色軽石層 シラス （白色軽石流） 10～50 m	姶良火砕流	中位段丘面	姶良火砕流	
			赤色土 砂礫層 （くさり礫） 20 m	小原砂礫層	高位段丘面		
	中期		溶結凝灰岩	火砕流 D			
			輝石安山岩溶岩 凝灰角礫岩	矢筈岳安山岩類	山地	肥薩火山岩類	肥薩火山岩類
	前期		溶結凝灰岩 間に頁岩，礫岩をはさむ （50～60 m ごと）	出水層 （火砕流 C B A）	平野下にのみ分布		
基盤			砂岩・粘板岩	四万十累層群	山地	四万十累層群	中・古生層

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）